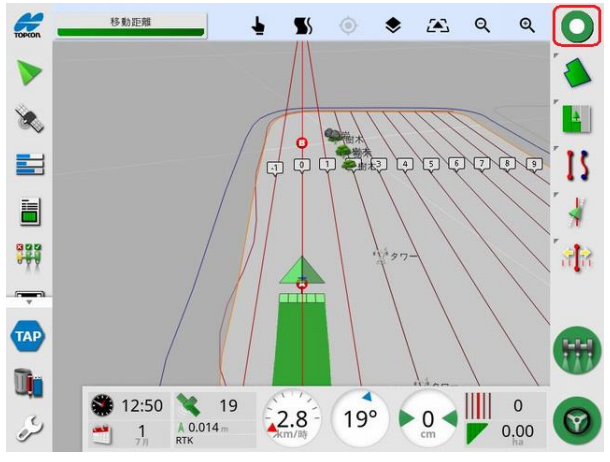








タスクボタンの操作方法

HORIOZN5.01.xx からデータはすべてタスクデータとして管理されます。タスクのオン/オフはすべて画面右上のタスクボタンひとつで操作することができます。タスクボタンでの基本的な操作方法について説明します。


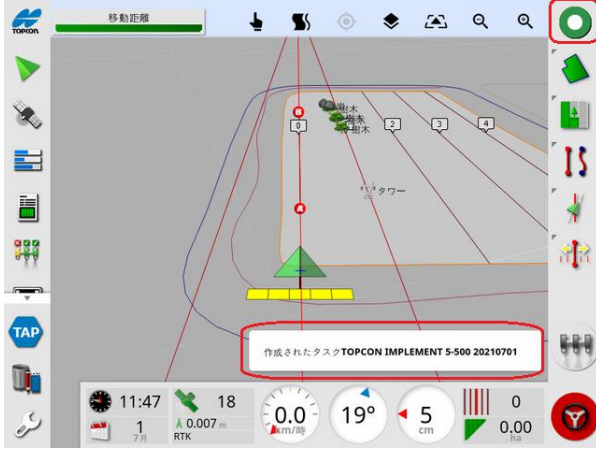

1. タスクボタンとタスクボタンの表示状態

1		<p>画面右上の赤い枠で囲われた部分がタスクボタンになります。</p> <p>このボタンひとつでタスクのオン/オフや現在のタスクの状態が識別できるようになっています。</p> <p>以下にタスクボタンの表示状態とその意味合いを説明します。</p>
---	--	---

	<p>タスク動作不可能 何らかの理由でタスク操作が不可能になっています。障害が解除されると“灰”に変わって停止状態になります。例えば、測位が開始されていないなど。</p>
	<p>タスク名が指定されおりタスク停止中 タッチすると“緑”に変わって指定のタスク名でタスクの記録を開始します。</p>
	<p>タスク名が無い状態でタスク停止中 タッチすると自動的にタスク名が作成されて“緑”に変わりタスクの記録を開始します。自動で作成されるタスク名は [牽引機名 + 日付 + (番号)]</p>
	<p>タスク稼働中 タッチするとタスクを [一時停止] か [完了] かを問いかけてきます。 [一時停止] を選択すると“青”に変わり、 [完了] を選択すると“灰”に変わります。</p>
	<p>タスク一時停止中 タスクの記録が一時停止しています。タッチすると [再開] か [完了] かを問いかけてきます。</p>
	<p>タスク停止状態 完了されたタスクが呼び出されている状態です。 タッチすると完了したタスクを再開するか問いかけてきます。</p>

2. タスク操作の一般的な流れの手順

まずは自動でタスク名を作成して作業を記録する基本的な手順を説明します。

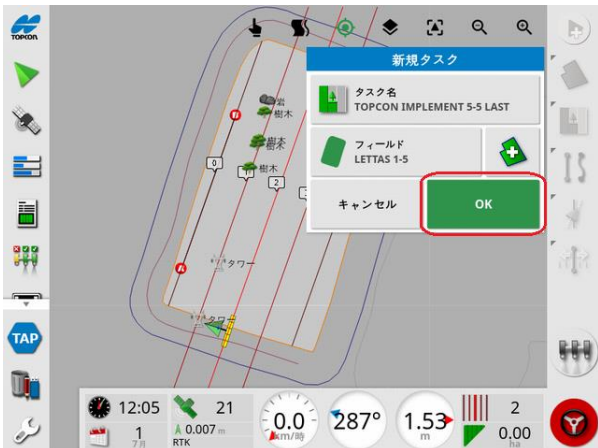
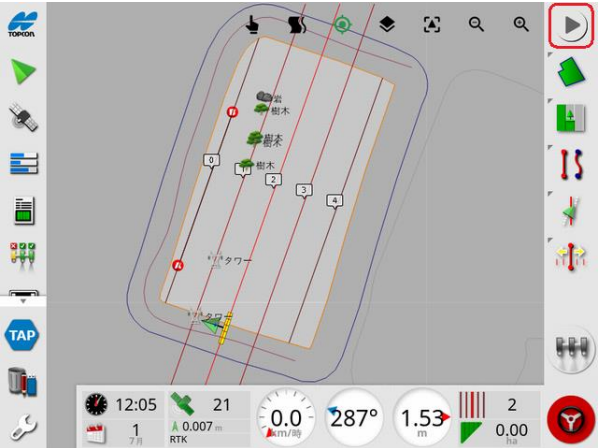
1		<p>作業を開始する位置まで車両を移動して、作業を開始する前に [タスクボタン] を選択します。</p> <p>ISO 機器のように牽引機が連動しない場合は、[マスタースイッチ] も選択しておきます。</p>
2		<p>[タスクボタン] が実行中の“緑”に変わり、自動的に作成されたタスク名がポップアップで表示されます。</p>
3		<p>その状態で作業をおこないます。</p>

4		<p>そのフィールドでの一連のひとつの作業が完了したら [タスクボタン] を選択します。</p>
5		<p>[タスクの停止] ダイアログが表示されますので、タスクを完了させますので [完了] を選択します。</p>
6		<p>ポップアップでタスクがアーカイブされたことが表示され、そのタスクの内容が表示から消えます。 ひとつのタスクが完了しましたので、 [タスクボタン] は再び停止中の表示に戻ります。 これで基本的なタスクの操作は完了になります。</p>

3. タスク名を指定してのタスク作業開始の手順

タスク名を明示的に作成してからタスクデータを記録する手順を説明します。

1		<p>まずタスク名を作成しますので [タスクメニュー]- [新しいタスクの作成] を選択します。</p>
2		<p>[新規タスク] ダイアログが表示されます。 [タスク名] を選択します。</p> <p>[タスク名] のエリアには直前に使用していたタスク名が表示されています。</p>
3		<p>ソフトウェアキーボードが表示されますので、新しく作成するタスク名を入力して [✓] を選択します。</p>

<p>4</p>		<p>[タスク名] に入力したタスク名が表示されているのを確認して [OK] を選択します。</p>
<p>5</p>		<p>右上の [タスクボタン] がタスク名ありの停止状態のアイコンになっていることが確認できます。</p> <p>この状態で [タスクボタン] を選択すると作成したタスク名でタスクデータの記録が開始されます。</p>

4. タスク作業中にタスクを一時停止したい場合の手順

タスク作業中に何らかの要因でタスクの記録を一時停止して、その後再度タスクの続きの作業をおこなう方法を説明します。

<p>1</p>		<p>タスク作業中に何らかの要因で作業を一時停止したい場合は、[タスクボタン] を選択します。</p>
<p>2</p>		<p>[タスクの停止] ダイアログが表示されますので、[一時停止] を選択します。</p>
<p>3</p>		<p>[タスクボタン] が“青”に変化してタスク記録作業が一時停止されたことを意味します。この状態では連動する ISO 牽引機の制御も一時停止されます。連動しない牽引機の場合は個別に [マスタースイッチ] でオフにしてください。</p>

4		<p>一時停止状態ではタスクデータの記録も停止しています。従って、一時停止状態で走行しても色塗りなどの機能も停止した状態になっています。</p>
5		<p>作業を再開する場合は、再開したい位置まで車両を移動させて [タスクボタン] を選択します。</p>
6		<p>[タスクの再開] ダイアログが表示されますので、[再開] を選択します。</p>
7		<p>[タスクボタン] が“緑”に変わり、作業内容がタスクに引き続き記録されるようになります。</p>

5. 作業中にシステムの電源を落としてしまった場合の手順


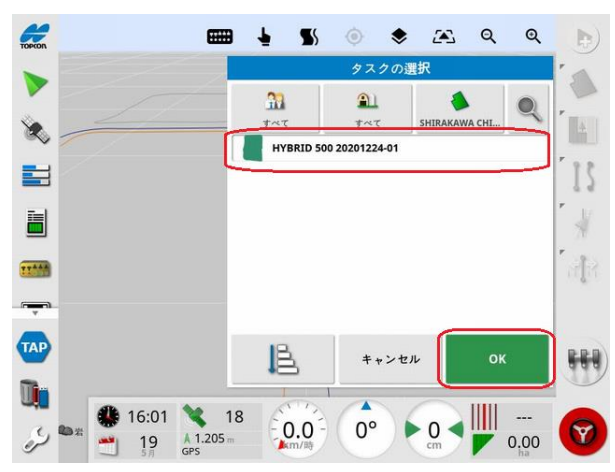
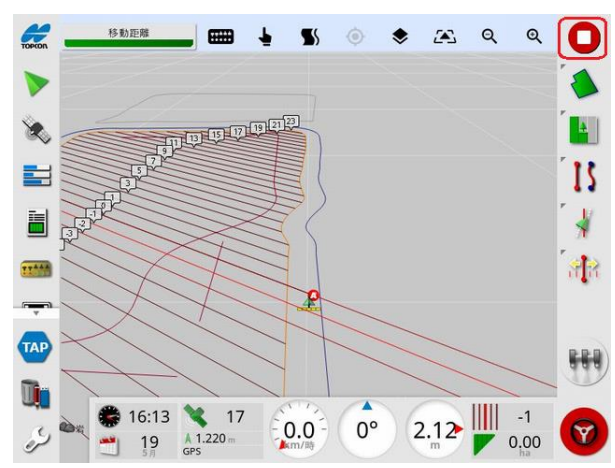
タスク記録作業中に [一時停止] [完了] せずにシステムの電源を落としてしまった場合の状況を説明します。

<p>1</p>		<p>左図のようにタスク作業を記録中に [タスクボタン] によって [一時停止] や [完了] などの指示をおこなわずにシステムの電源を落としてしまったとします。</p>
<p>2</p>		<p>システムを再起動すると左図のような画面になります。基本的にはタスクの指示をおこなわずにシステムの電源を落とすと自動的に一時停止の状態になります。 再起動後に [タスクの一時停止] と警告が表示されます。</p>
<p>3</p>		<p>作業を再開したい場所まで車両を移動させて “青” 表示の [タスクボタン] を選択します。</p>

4		<p>[タスクの再開] ダイアログが表示されますので、 [再開] を選択します。</p>
5		<p>[タスクボタン] が“緑”に変わり、作業内容が タスクに引き続き記録されるようになります。</p>

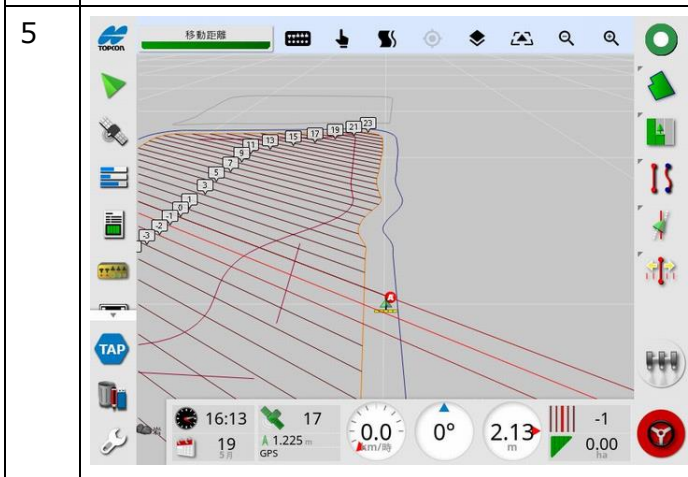
6. 完了したタスクの再開手順

一度作業が完了したタスクを呼び出しそのタスクへの追加作業を記録する手順を説明します。

1		<p>[タスクメニュー]-[タスクの選択] を選択します。</p>
2		<p>[タスクの選択] ダイアログで再開したいタスクを選択して [OK] を選択します。</p>
3		<p>既存の完了したタスクを読み込みと [タスクボタン] は停止状態の表示になりますので、[タスクボタン] を選択します。</p>



[タスクの再開] ダイアログが表示されますので、
[再開] を選択します。



[タスクボタン] が“緑”に変わり、作業内容が
タスクに引き続き記録されるようになります。

7. フィールド境界なしでのタスクの実行

フィールド境界を作成せずにタスクを開始して作業を記録してしまった場合を説明します。

1	 A screenshot of the software interface. The top right corner features a red circle highlighting a task button. The main area shows a green field with a red line and a green tractor icon. The bottom status bar displays time (12:35), date (21 7月), RTK status, speed (0.0 m/h), heading (337°), and other metrics.	<p>フィールド境界を作成しなくてもタスクボタンを選択することで作業内容はタスクとして記録することはできます。</p> <p>タスクを完了する場合は通常と同じように [タスクボタン] を選択します。</p>
2	 A screenshot of the software interface with a dialog box titled 'タスクの停止' (Task Stop) in the center. The dialog contains instructions and three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '一時停止' (Pause), and '完了' (Complete). The '完了' button is highlighted with a red box. The background shows the same field and tractor as in the first screenshot.	<p>完了する場合は、 [タスクの停止] ダイアログで [完了] を選択します。</p>
3	 A screenshot of the software interface showing the task area. A blue boundary line has been drawn around the task area, indicating that the field boundary has been automatically created. The tractor icon is now positioned within this boundary. The status bar at the bottom shows the same information as the previous screenshots.	<p>完了と同時に自動的にフィールド境界が作成されます。但し、牽引機の動作に関わらずタスク記録中に走行した軌跡から作成されますので、作業に関係ない走行をした場合にそれらを基準に境界が作成されますので、必ずしも牽引機の作業に一致する保証はありません。</p> <p>フィールド境界を作成後にタスクの記録を開始することをお勧めします。</p>